

2008年(平成20年)10月24日(金曜日)

富

富

富

富

ヒマラヤ国際映画祭

「地球と人間」描く30作

ヒマラヤの環境問題などを

テーマにした記録映画を

上映する「ヒマラヤ国際映

画祭TOKYO2008」

が31日から4日間、東京・

代々木の国立オリンピック

記念青少年総合センターで

開かれる。

ヒマラヤは、中国やイン

ド、ネパールなどにまた

がる大山脈で、「世界の屋

根」とも呼ばれる。ネパ

ールの母親を持つオランダ

人男性医師がヒマラヤの自

然の魅力を知らせようと、

世界の映画監督に呼びか

け、2003年、アムステ

ルダムで映画祭は始まっ

た。日本でも06年に行わ

れ、今回は2回目の開催

となる。

「ヒマラヤ地域を通じて

地球と人間の関係を考え

る」というテーマで、11月

1〜3日、環境や貧困・開

発、冒険など5部門で計30

作品を日本語の字幕付きで

上映。例えば、英国の「メ

ルトダウン―氷河融解」(2

004年、50分)は、地球

温暖化の影響でヒマラヤの

氷河が解けて地元に深刻な

影響を与えている現状を描

いた。

また、セルビアの「コー

ラと少年」(07年、52分)

は、生活費を稼ぐためにコ

ーラの業務用の冷蔵庫を山

奥から街まで運ぶネパール

の17歳の少年の姿に丹念に

迫っている。

映画上映に先立ち、10月

31日には、地球温暖化の問

題などについて考えるチベ

ット仏教高僧のアジャ・リ

ンポチェさんの講演会など

も開かれる。

日本で映画祭を主催する

「ヒマラヤ・アーカイブ・

ジャパン」代表の田中邦彦

さんは「ヒマラヤ地域が抱

える環境や貧困などの現状

を、地球レベルで直面して

いる普遍的な課題として見

つめ直すきっかけにしてほ

しい」と話す。

入場料金は、2、3作を

組み合わせた1プログラム

で1500円。映画祭の公

式ホームページは、http:

//www.himalayafilmf

estival.jp/。問い合わせ

は、「ヒマラヤ・アーカイ

ブ・ジャパン」(044・

9555・8678)へ。